

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会  
平成 26 年度 第 1 回新技術評価検証委員会 議事録

日時：平成 26 年 7 月 18 日 18：00～19：00

場所：リーガロイヤルホテル大阪 6 階 扇の間

理事： 岩崎幹季（大阪労災病院）

委員長： 川上紀明（名城病院）

出席： 永島英樹（鳥取大学）、西良浩一（徳島大学）、武政龍一（高知大学）  
水谷 潤（名古屋市立大学）、藤林俊介（京都大学）、中村雅也（慶応義塾）

欠席： 朝妻孝仁（村山医療センター）、伊東学（北海道医療センター）

【議事】

1：自己紹介

2：これまでの説明（川上委員長）

X-STOP, PVP

3：BKP（メドトロニック）の類似品について説明。アメリカ社製（川上委員長）

現在、BKP は研修した医師のみが使用しているが、他社が入ると教育システムが問題となる。企業中心の研修システムも問題だが、研修を学会主導とするか、という問題もある。

4：今後の方針について。

XLIF と OLIF は登録制にして、合併症について把握する必要がある。

メーカー（メドトロニック、ニューベイシブ）と協力し、使用施設、件数を把握する。

まずは、期間を区切って（たとえば 3-5 年間）。

委員の一致した意見が得られた。

今後認可される新技術については適宜委員会で検証の対象とすべきかどうか検討する

5：XLIF 担当：水谷先生

OLIF 担当：藤林先生

合併症に加え、偽関節や成績まで調査するかどうかは、今後の課題。

両名が、たたき台の作成を行うことになった。早々に作成し、8月にメール審議とする。本年中に方針を固めて、年始の理事会にかけて頂く。

次回、10月10日（金曜日）夜7PM、東京にて開催予定。

以上